

新潟市白根斎場指定管理者申請者評価会議 概要

- 1 日 時 令和2年10月19日（月） 午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 会 場 南区役所 4階403会議室
- 3 出席者 評価委員（順不同） 細田あや子委員、小柴元子委員、小田信雄委員
事務局 南区区民生活課
※傍聴者0人
- 4 要 旨
 (1) 開会（南区区民生活課長あいさつ）
 (2) 申請者によるプレゼンテーション
 (3) 質疑

発言者	内 容
小田委員	1社のみ応募となったが、その場合は評価点何点で合格となるか。
区民生活課	100点満点で60点以上が合格となります。
小柴委員	重要な後発事象にあげられるような事象はあるのか。
申請者	特にはありません。
小柴委員	事業計画では、前年比で売上高の減少が見込まれているが、コロナ禍の影響か。
申請者	当社では産業炉と火葬炉を取り扱っているが、産業炉については、コロナ禍の影響が大きく、全体の売上げの減少を見込んでいる。
小田委員	御社はISO27001を取得していますが、電子記録情報などの管理については、どう対応しているのか。
申請者	パソコンはすべて2重のパスワードを設定したものを、会社から支給している。個人のパソコンの使用は認めておりません。
小田委員	白根斎場で職員は4人とのことだが、4名で応援派遣は行えるのか。県内の斎場も全て4名であるが、相互応援が可能な人数なのか。斎場運営で困ったことなかったのか。
申請者	仕事の内容で4人のうち1名は適正な休暇を取得している場合が多く、応援が必要な場合は、休日を調整するなどして対応が可能です。また、病気や冠婚葬祭といった短期の人員不足がほとんどで、十分な対応が出来ると思います。これまでのところ、緊急性の高いトラブルは発生していない。
小田委員	資格については、必要なものを取得しているが、災害・緊急時の対応のため、防災士を育成する必要があるのではないのか。

発言者	内 容
申請者	資格についてはご指摘のとおり。今後とも、積極的に資格取得を促していく。
佐藤委員	年一回以上の火災・地震等を想定した防災訓練・救命訓練を実施とありますが、頻度は年二回以上がいいのではないかと。
申請者	実施を検討していきます。
小田委員	職員のやる気のため全員正社員にしているとのこと、勤続年数が長いなどいい傾向だが、今後どのように昇給を考えているか。
申請者	現状5年間の指定管理の5年目になり、増額したところである。これから5年かについても、精査して取り組んでいく。
小田委員	風習と慣習を熟知している、御社の特徴は、どういったところにあるのか。
申請者	火葬場の使われ方は地域・地域で異なっている。新潟市においても土地・土地で異なっていて、その土地の風習・慣習に合わせて運営している。
小田委員	アンケートを取り入れているが、これに対する強い指摘のようなものはあったのか。
申請者	強い言葉の指摘は少ない。
細田委員	近隣の住民からの、苦情などはあったか。
申請者	近隣の住民からの苦情はもらったことはない。
細田委員	ごみ処理費用の実績は。
申請者	事業者で費用は対応している。基本的にはごみの持ち帰りをお願いしているため、大きな経費にはなっていない。
	(質疑終了)

(4) 評価 (採点)

(5) 集計結果の発表

(6) 閉会